

2019年度（第39回）四国アマチュアゴルフ選手権競技

LOCAL RULES AND TERMS OF COMPETITION

SGU SHIKOKU GOLF UNIO

2019年度第39回四国アマチュアゴルフ選手権競技は R&A とUSGAが承認したゴルフ規則(2019年1月施行)と下記のローカルルールと競技の条件を適用する。ローカルルールと競技の条件の修正や追加については各競技の競技規定やプレーヤーへの注意事項、および各会場の公式掲示板で確認すること。下記に参照するローカルルールの全文については2019年1月発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること(www.jga.or.jp で閲覧可)。別途規定されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰(2罰打)。

ローカルルールと競技の条件

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）

- (a) アウトオブバウンズの境界は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- (b) アウトオブバウンズと定められた境界を挟んだどちらか一方からプレーされ、その境界を挟んだ反対側に止まった球はアウトオブバウンズである。そのことは球が他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まった場合にも当てはまる。

2. 異常なコース状態（動かせない障害物を含む）（規則 16）

(a) 修理地

- (1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域。
- (2) 委員会が異常な損傷とみなした地面（例：観客や車両の動きによって生じた損傷区域）。
- (3) 張芝の継ぎ目；ローカルルールひな型F-7を適用する。
- (4) フェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16.1に基づく救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがプレーヤーのスタンスにだけ障害となる場合、障害は存在しない。

(b) 動かせない障害物

- (1) 白線の区域と動かせない障害物がつながられている場合、または動かせない障害物と他の動かせない障害物が接している場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- (2) 動かせない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長しているすべてのものは、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- (3) 排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にある排水溝）。
- (4) 人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。

3. クラブと球

- (a) 適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型G-1を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
- (b) 適合球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。
このローカルルールの違反の罰：失格

注：適合クラブと球の更新されたリストは www.randa.org で閲覧できる。

4. プレーのペース（規則 5.6） この条件は本競技第3・第4ラウンドにのみに対して適用する。

(a) 許容時間

各ホールには、距離や難易度に基づいて終了するための最大時間がさだめられている。18ホールそれぞれを終了するために割当てられているこの最大時間はプレーする前にスタートで入手することができる。

定義「アウトオブポジション」

第1組とスターターズギャップの直後の組は、そのラウンドのどの時点であっても、その組の累積時間が、終了したホールまでに許される時間を超えた場合、アウトオブポジションとなったものとみなされる。それ以後の組は前の組のスタート間隔を超え、かつ終了したホールまでに許される時間を超えた場合、アウトオブポジションとみなされる。注：アウトオブポジションとなっている「以後の組」を計測するかどうかの裁定を行う際、終了したホール数のために割当られた時間を超えていない組に対して寛大さを示すことができる。

- (b) 組がアウトオブポジションとなった場合の処置

- ①ある組を計測することが決定された場合、その組の各プレーヤーはレフリーによって個別に計測されることになる。その組の各プレーヤーは「アウトオブポジションとなっているので計測される」ということを告知される。
- ②ショットごとに割当てられている最大時間は40秒である。次の場合に最初にプレーするプレーヤーは追加の10秒が許される。これらの最大時間を超えた場合「バッドタイム」となる。
- ・パー3のホールで
 - ・アプローチショットで
 - ・チップあるいはパットで
- 計測はプレーヤーが球に到着するために必要な時間が経過し、プレーの順番となり障害や妨げるものがなくなったときにスタートする。
- パッティンググリーン上では、計測はプレーヤーが球を拾い上げ、ふいて、そしてリプレースし、ボールマークを修理し、ルースインペディメントを取り除くための合理的な時間が経過したときにスタートする。ホールの向こう側からまた球の後方からラインを読むために費やした時間は次のストロークのための時間の一部としてカウントする。
- ③計測は組が遅れを取り戻したときに中止し、プレーヤーにそのことが告知される。

注：状況によっては、全員を計測するのではなく、その組の中の1人のプレーヤーあるいは2人のプレーヤーだけが計測される場合もある。

バッドタイム1回目 レフリーからの口頭での警告(さらなるバッドタイムがあると罰を受けることを告げる。)

バッドタイム2回目 1打の罰

バッドタイム3回目 さらに2罰打

バッドタイム4回目 失格

(c) 同じラウンドで再びアウトオブポジションとなった場合の処置

ある組が1ラウンドで2回以上アウトオブポジションとなった場合、上記の手続きが各ケースに適用される。同じラウンドのバッドタイムと罰の適用はそのラウンドが終了するまで持ち越される。最初のバッドタイムを知らされる前に2度目のバッドタイムとなった場合、罰は課せられない。

d) 組がアウトオブポジションとなっていない場合に警告なしの計測

状況によっては、ある組、または個人のプレーヤーを警告なしに計測することができる。(組がアウトオブポジションとなっていない場合も含めて)このような「無作為の計測」の場合、上記の(b)項に規定された規則と罰を適用する。ただし、プレーヤーが1ショットをプレーするのに60秒を超え、上記(b)の最初にプレーするプレーヤーに与えられる追加の10秒を加え、つまり合計で70秒を超えた場合にのみバッドタイムが与えられる。

5. プレーの中断と再開の方法 (規則 5.7 b) (※開催コースにより異なる)

次の信号がプレーの中断と再開に使われる:

差し迫った危険のための即時中断—1回の長いジェットホン

危険な状況ではない中断—連続する短いジェットホン

プレーの再開—1回の長いジェットホン

注: 危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

6. 練習 (規則 5.2)

(a) ストロークプレーでは、規則 5.2b は次のように修正される: プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技が行われるコース上で練習してはならない。

(b) プレーヤーは2つのホールのプレーの間、次のことをしてはならない

・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。

・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

例外: 競技日にプレーヤーはコース内で練習用に識別されているすべての練習区域を練習のために使うことができる。

7. 距離計測器 (規則 4.3 a)

ローカルルールひな型G-5を適用し、規則 4.3aは次の通り修正される: 「ラウンド中、プレーヤーは電子的な距離計測機器を使用して距離情報を得てはならない。」

このローカルルールの違反の罰—規則4.3参照

8. オーディオ・ビデオ機器の使用禁止

ラウンド中、プレーヤーはいかなる内容であっても個人のオーディオ・ビデオ機器を視聴してはならない。

このローカルルールの違反の罰—規則4.3参照

9. 移動

1. 1・2ラウンドに適用 ラウンド中、プレーヤーはいつでも動力付きの移動機器に乗車することができる。

2. 3・4ラウンドに適用 ラウンド中、プレーヤーは動力付きの移動機器に乗車して移動してはならない(ただし、ホール間の移動またはキャディーには適用しない。また委員会が承認する場合や、事後承認した場合を除く)。ストロークと距離の罰に基づいてプレーする(あるいはプレーした)プレーヤーは常に動力付きの移動機器に乗車して移動することが承認される。プレーヤーは違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。2つのホールの間違反は次のホールに適用される。

10. キャディー

正規のラウンド中プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。

11. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

12. タイの決定

72ホールを終わり1位がタイの場合は、即日委員会の指定するホールにおいてホールバイホールのプレーオフを行い優勝者を決定する。なお、3名以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外の競技者は2位タイとする。また全国大会出場資格にタイが生じた場合はマッチングスコアカード方式で上位者を決定する。

13. 競技の結果—競技終了

競技の結果は選手権の優勝杯が優勝者に授与されたときに正式に発表されたことになりその競技は終了となる。

14. 注意事項

- (a) 参加の取り消し
委員会は競技中を含めいつでも出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。
- (b) 行動規範
プレーヤーまたはそのキャディーにエチケット違反、または非行があった場合には「JGAの行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則1.2aに基づいて失格とする場合がある。
- (c) パッティンググリーンマップの縮尺、ブックのサイズの制限については、JGAホームページに掲載されているので必ず確認しておくこと。(大会当日は掲示板に掲示して告知する。)